

DIAMOND  
**Quarterly**

[ダイヤモンド クォータリー]

東証プライム市場に上場する企業の経営者・役員、  
約21,000名を含む56,000名のエグゼクティブに  
直送するマネジメント誌

2024年 夏 号

<7月中旬発行予定>

〈特集隣接・特別広告企画〉

# 地政学リスクに日本企業は いかに備えるべきか

(仮題)



【本誌特集タイトル】

「未来創造へのリスクテーキング」

—停滞の時代を打破するリーダーのコミットメント—

## 対象企業・サービス

- ・リスクコンサルティング、アドバイザリーサービス
- ・調査、アセスメント、分析リスク関連サービスなど

# 媒体概要（ダイヤモンド クォータリーとは）

## ■ 媒体概要

ダイヤモンド社が保有する法人データベース250,000件の中から、東証プライム市場に上場する企業+売上高400億円以上の非上場企業のCクラスを含む経営者および取締役・執行役員約21,000人を抽出し、個人名宛で直送する唯一無二のマネジメント誌です。

ダイヤモンド クォータリーは、2013年にダイヤモンド社100周年記念事業として生まれ、3年後の2016年10月に現在の誌名、発行形態で創刊いたしました。

以降、日本を代表する経営者、アカデミズムなどのへのインタビューをはじめ、コンサルティングファームやITスペシャリストへの取材記事など、本質的で実践的なコンテンツを多数掲載しており、読者である経営マネジメント層から高い支持をいただいているます。

また、近年は誌面とともにデジタル版の配信、オンラインでの展開、イベント開催などにも力を入れており、今後さらに読者とのリレーションや接点を強化していく予定です。



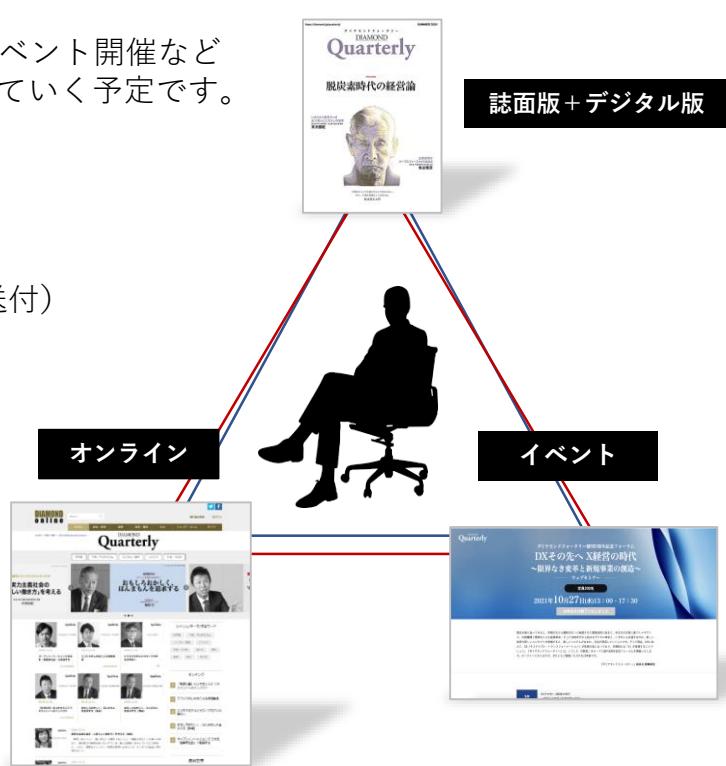
## ■ 媒体概要（詳細）

発行日：3月、7月、10月、12月発行（年4回・季刊）

発行形態：コントロールドサーティキュレーション（選ばれた読者のみに送付）

販売価格：無料 ※電子版は880円（税込）で販売

発行部数：約56,000部（雑誌21,000部+デジタル版35,000部）



## ■特集隣接・特別広告企画

# 地政学リスクに日本企業はいかに備えるべきか (仮題)

## ■企画趣旨

米中対立やロシアのウクライナ侵攻、イスラエル軍によるパレスチナへの攻撃など、国家間の緊張や紛争といった地政学リスクによって、世界中で原材料の高騰やサプライチェーンの混乱などが起き、一定期間、事業が継続できなくなるケースが生じています。2024年は1月の台湾総統選を皮切りに主要国で重要選挙が相次ぎますが、特に11月の米大統領選挙では、仮にトランプ前米大統領が再選すれば、アメリカファーストの保護主義的な政策が復活する可能性や、対ロシアや気候変動対策の方針が覆され企業活動の前提が大きく崩れる恐れも十分あり得るでしょう。

そう言った状況の中、日本企業においては、地政学リスクの存在やその深刻さは認識しながらも、具体的な対策を講じているケースはまだ少ないのが実情ですが、有事の際に、サプライチェーンの分断や為替変動、エネルギー供給の混乱、従業員の安全確保など、自社の事業に致命的な影響を及ぼす要因を洗い出し、複数の選択肢を用意してシミュレーションを行うシナリオプランニングを実践するなど、事前の準備と組織内の意識共有を行うことが重要でしょう。

そこで、東証プライム上場企業のCxO、役員、執行役員21,000名を含むトップマネジメントへ直送する唯一無二のマネジメント誌であるダイヤモンド クォータリーでは、**2024年夏号（7月発刊予定）の特集「未来創造へのリスクテーキング—停滞の時代を打破するリーダーのコミットメント—(仮題)**と連動する形で、「**地政学リスクに日本企業はいかに備えるべきか(仮題)**」と題した広告企画を実施いたします。

本企画では、企業戦略において、いかに正しく地政学リスクの把握や分析、シナリオプランニングを行い、有事に備えるべきかについて有識者にインタビューを行うとともに、協賛各社のサービスの特徴や強みについて訴求を行っていただきます。

ぜひこの機会に企画へのご参画をご検討いただきますよう、宜しくお願ひいたします。

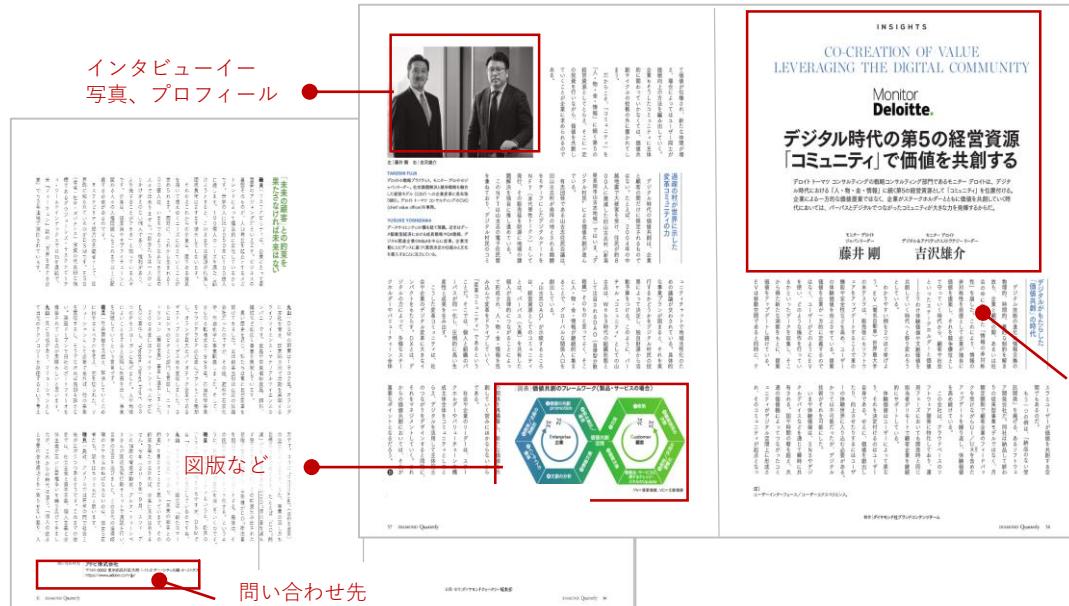
## 企画詳細

特集ページと隣接する広告企画です。特集テーマと合わせて協賛企業様のご知見を**専門家の視点**で語っていただく**マルチスポンサー型の広告企画**です（※当企画は4ページ～掲載可）。

## <掲載イメージ>

### ●広告タイアップ4ページの場合

<https://www.diamond.co.jp/go/dquarterly/32/?pNo=58>



## <掲載料金>

ページ数	料金
4ページ	3,800,000円
6ページ	5,200,000円

※取材・制作費を含みます。  
※料金は税抜です。

ロゴ、記事見出し、  
リード文  
インタビュー氏名

## ■誌面構成イメージ

### ●誌面構成イメージ

#### 特集ページ 未来創造へのリスクテーキング

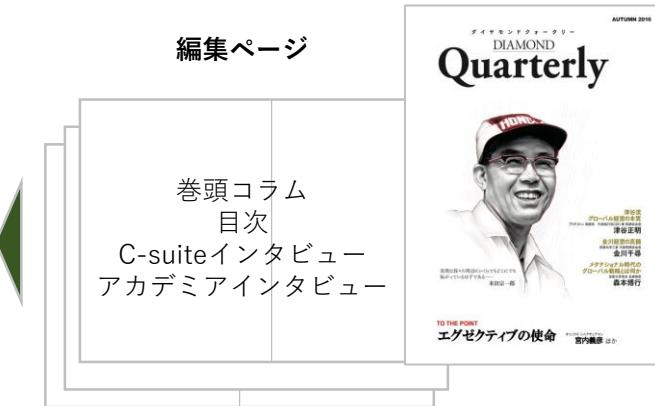


#### タイアップページ



B社

#### 編集ページ



#### タイアップページ



A社

## ■DQオンラインへの転載

雑誌に掲載したコンテンツ（タイアップ記事）を  
**オンライン転載**し、リーチを拡大します。

### 《展開イメージ》

#### ●DQオンライントップ



<https://diamond.jp/list/quarterly>

※掲載内容は誌面と同様です。

※誘導はDQオンライントップ

およびダイヤモンド・オンライン、  
DHBRオンラインなどから行います。

※ご要望により、オンライン単独での  
掲載も承ります。

※二次利用（広告主サイトからのリンク）  
についてはお問い合わせ下さい。

#### ●タイアップページ



### <転載料金>

ページ数	料金	保証PV
4ページ	1,000,000円	5,000PV
6ページ	1,800,000円	10,000PV

※雑誌料金への追加料金です。

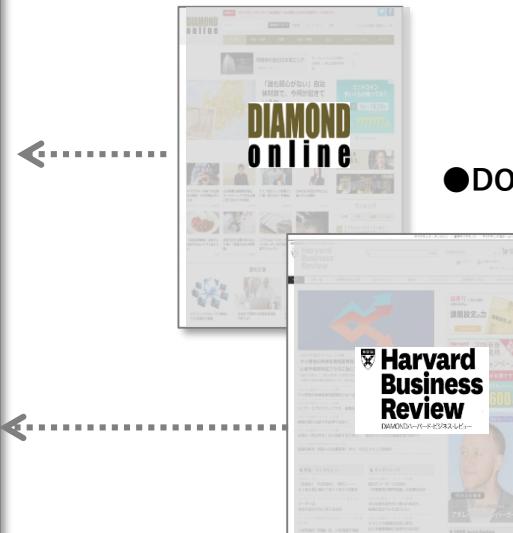
※8ページ以上の場合はお問い合わせ下さい。

※誘導方法は弊社に一任となります。

※オンラインのみでの展開も可能です。仕様/料金等は  
ご相談ください。

※料金はすべて税別です。

#### ●DOL、DHBRオンライン



## ■純広告料金

表紙周りの**特別なスペース**。中面も掲載可能です。

### <掲載料金>

ページ数	料金	サイズ (天地×左右)
①表2	<b>1,000,000円</b>	280×210mm※
②表3	<b>900,000円</b>	280×210mm
③表4	<b>1,300,000円</b>	260×190mm
見開き2ページ	<b>1,800,000円</b>	280×420mm
1ページ	<b>900,000円</b>	280×210mm

※原稿はスポンサー企業様にてご用意ください。

※表2は見開きも可能ですので、ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

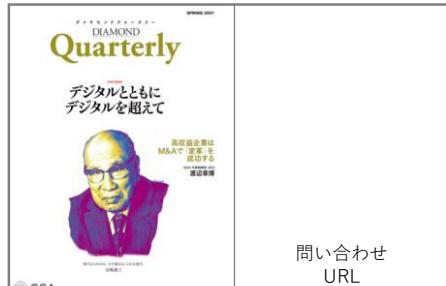
※料金は税別です。

表紙



③表4

## ■抜き刷り



表紙

問い合わせ  
URL

裏表紙

部数	4ページ		6ページ		8ページ		10ページ	
	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価
1,000部	350,000円	0	368,000円	0	384,000円	0	416,000円	0
1,000部以上	350,000円	15	368,000円	23	384,000円	26	416,000円	36
5,000部	410,000円	14	460,000円	21	488,000円	23	560,000円	32
10,000部	480,000円	12	565,000円	20	603,000円	22	720,000円	30

- 表紙は弊社が定める抜き刷り専用のデザイン・フォーマットとなります。
- 裏表紙には、ロゴ、住所、URLなどの簡単な企業情報を入れていただくか、純広告を入れることができます。

※上記以外の部数、ページ数の料金はお問い合わせください。

## ■同梱サービス



- 1号あたり**4社**限定で、経営者**21,000名**へ本誌を送付する際に、企業様からご提供いただくパンフレット、広報誌、セミナーチラシなどを同梱するサービス。

※その他、ダイヤモンド社からのお知らせが入る場合がございます。

- 利用料金：**1,500,000円**

- 利用条件：本誌に**100万円以上**のご出稿主様限定

- 同梱規定：4社限定、重量50g以内、厚さ5mm以内

- 印刷物は広告主様にてご用意ください。

## ■誌面PDF



- 利用料金：1ページあたり **100,000円**
- 利用期間：ご利用開始日から 1年間
- 使用範囲：自社ホームページ、インターネットでの掲載に限ります。

※他社メディアでの掲載はご遠慮ください。

料金はすべて税別です。

## ■特集テーマ（表紙タイトル）

# 「未来創造へのリスクテーキング」

—停滞の時代を打破するリーダーのコミットメント—

## [企画概要・趣旨]

ピーター・F・ドラッカーは、著書『創造する経営者』（2007年、ダイヤモンド社）で次のように述べています。

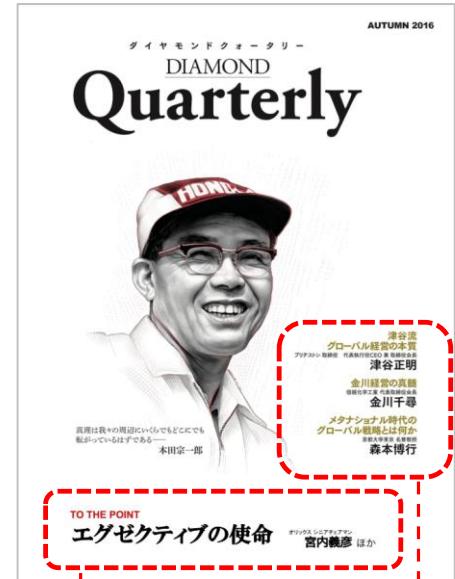
「明日を築く土台となる構想は、不確実たらざるをえない。<中略>  
 もし不確実でもなく、リスクを伴うものでもないならば、  
 そもそも、未来のための構想としては現実的ではない。  
 なぜならば、未来それ自体が不確実であってリスクを伴うものだからである」

“失われた30年”といわれる停滞の時代は、不確実性を過度に恐れ、リスク回避を優先し、我が国がイノベーションと価値創造の活力を失った時代であると言えます。

ダウンサイドリスクを適切に管理しながらも、るべき未来を創造するための挑戦や投資のモメンタムをいかに高めるか。それが日本経済にとっての大きなアジェンダとなっています。

本特集では、不確実性を受け入れ、中長期的な成長や価値創造につながるリスクテーキングを実行していくマネジメントのあり方、リーダーのコミットメントについて考察します。

## 表紙イメージ



特集タイトル

卷頭インタビュー  
コンテンツ

## ■特集インタビュー候補

- ・日立製作所 代表執行役 執行役副社長 CFO兼CRMO (仮題)

**河村 芳彦氏**

[略歴] 三菱商事執行役員、世界銀行エコノミストを経て2015年に日立製作所入社。ハーバード・ビジネス・スクールなどの経験も生かし、2018年からCSO（最高戦略責任者）、2020年4月からCFO（最高財務責任者）として日立の経営改革をリード。2022年4月よりCRMO（最高リスク管理責任者）兼務。

- ・ニコン 代表取締役 兼 副社長執行役員

**徳成 旨亮氏**

[略歴] 慶應義塾大学卒業、米ペンシルベニア大学大学院AMPOB修了。1982年三菱信託銀行（現三菱UFJ信託銀行）に入行。2015年三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役執行役常務グループCFOに選任され、5年間にわたりCFOを務める。2020年にニコンに移り現職。著書に『CFO思考 日本企業最大の「欠落」とその処方箋』（2023年、ダイヤmond社）。

- ・多摩大学大学院研究科（ビジネススクール）教授

**堀内 勉氏**

[略歴] 東京大学法学部卒業、ハーバード大学法律大学院修了、Institute for Strategic Leadership(ISL)修了、東京大学 Executive Management Program(EMP)修了。日本興業銀行、ゴールドマン・サックス、森ビル・インベストメントマネジメント社長を経て、2015年まで森ビル取締役専務執行役員CFO。著書に『読書大全 世界のビジネスリーダーが読んでいる経済・哲学・歴史・科学200冊』（2021年、日経BP）、『コーポレートファイナンス実践講座』（2014年、中央経済社）など。

## ●巻頭インタビュー（経営者・アカデミア）候補

未定

DIAMOND  
**Quarterly**

[ダイヤモンド クォータリー]

ダイヤモンド クォータリー (DQ)  
媒体コンセプト

“日本の経営の再発見”をコンセプトに、21世紀にふさわしい日本の経営のあり方や、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

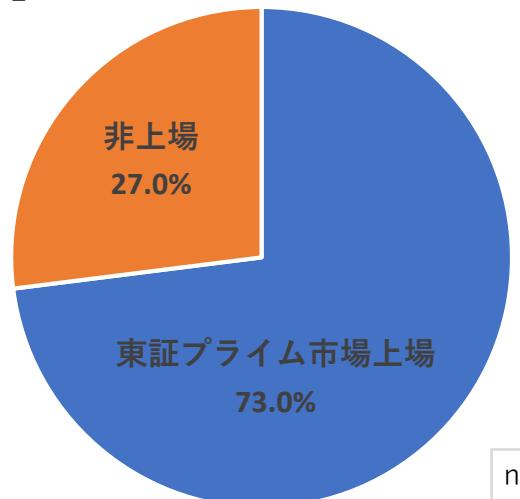
日本の産業界は戦後以降、積極的に欧米企業に学びその長所や特長を「選択的」に取り込みながら製品、事業、人材、経営そのものを進化させ、ついには「日本の経営」という世界に類を見ない独自のマネジメントシステムを確立しました。しかし、バブル経済崩壊後は自信喪失から日本の経営を否定し、経営のグローバルスタンダード化という名の下に欧米の経営理論や手法を安易に導入した結果、日本企業の強みが急速に失われてしまいました。

そもそも、国の歴史、風土、文化、社会規範、地政学的要因等が異なる以上、経営のグローバルスタンダードなど存在しません。その象徴的存在としてよく紹介されるGE、P&G、フィリップス、シーメンスなどは、実のところ創業者の理念や価値観、発祥の地の歴史や文化を今なお大切にしており、それが彼らの強さの源泉となっています。

ダイヤモンド クォータリーは、冒頭の「21世紀にふさわしい日本の経営の再発見。」を掲げ、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

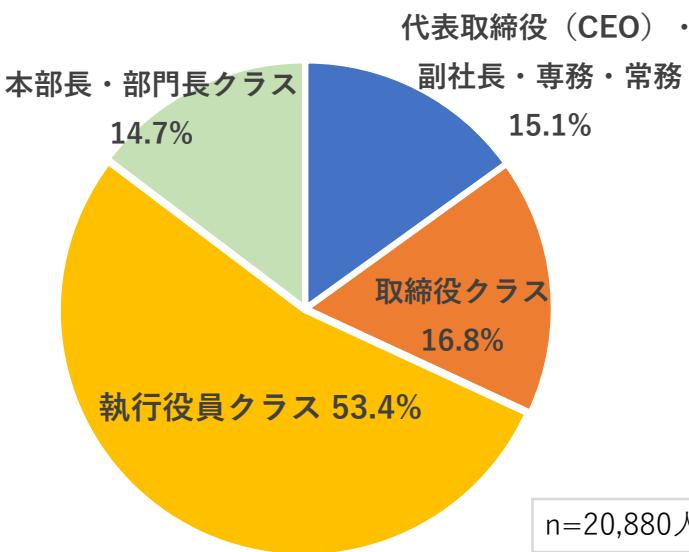
ダイヤモンド クォータリー  
編集長 岩崎 卓也

## 【上場区分】



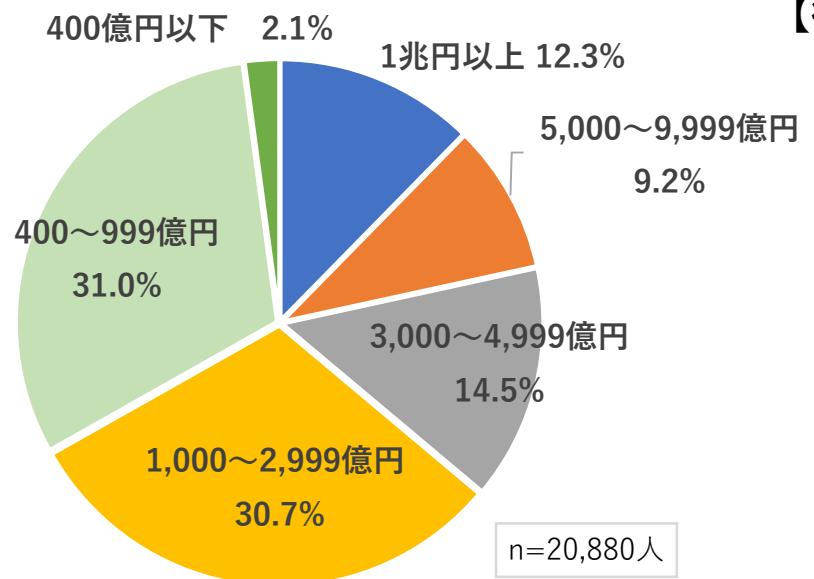
n=20,880人

## 【役職】



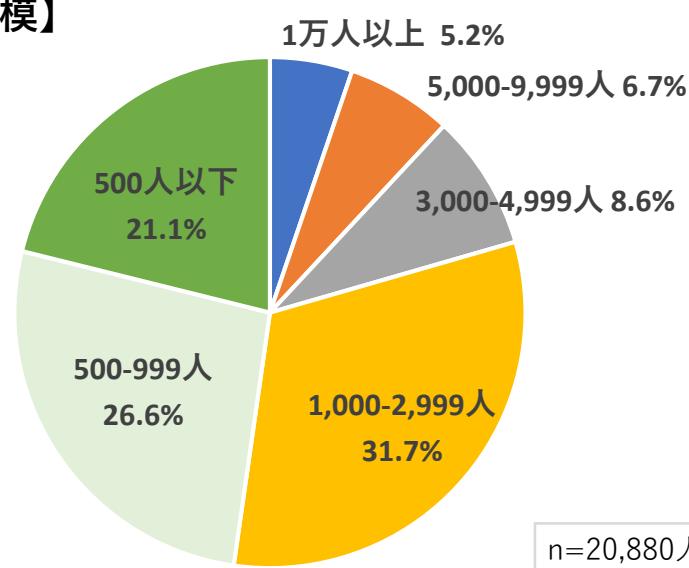
n=20,880人

## 【売上】



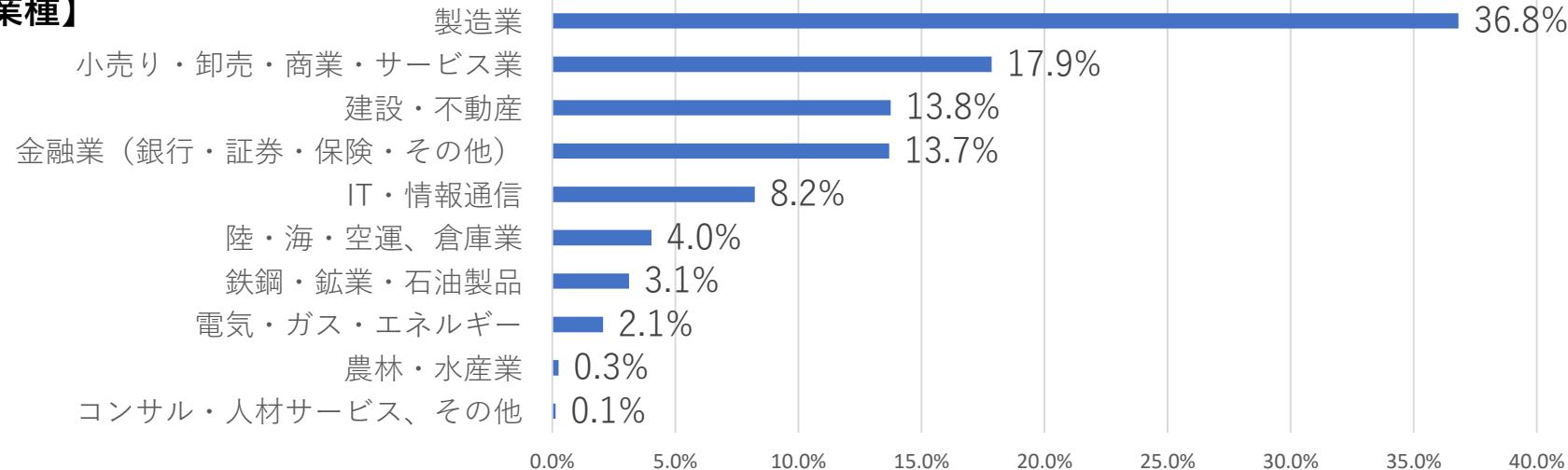
n=20,880人

## 【従業員規模】

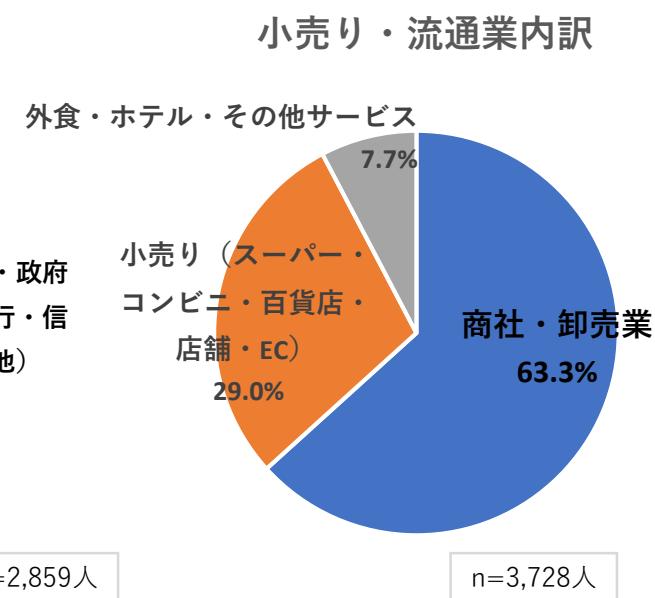
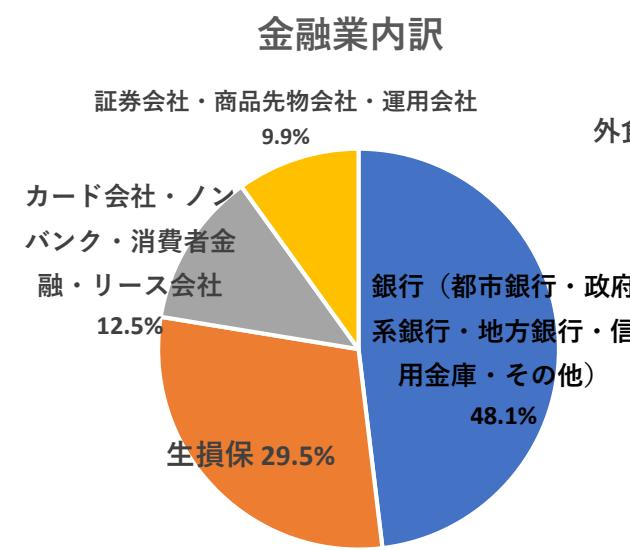
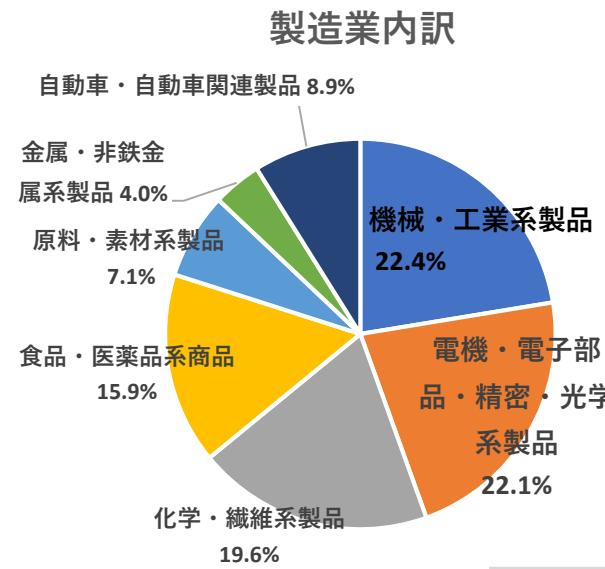


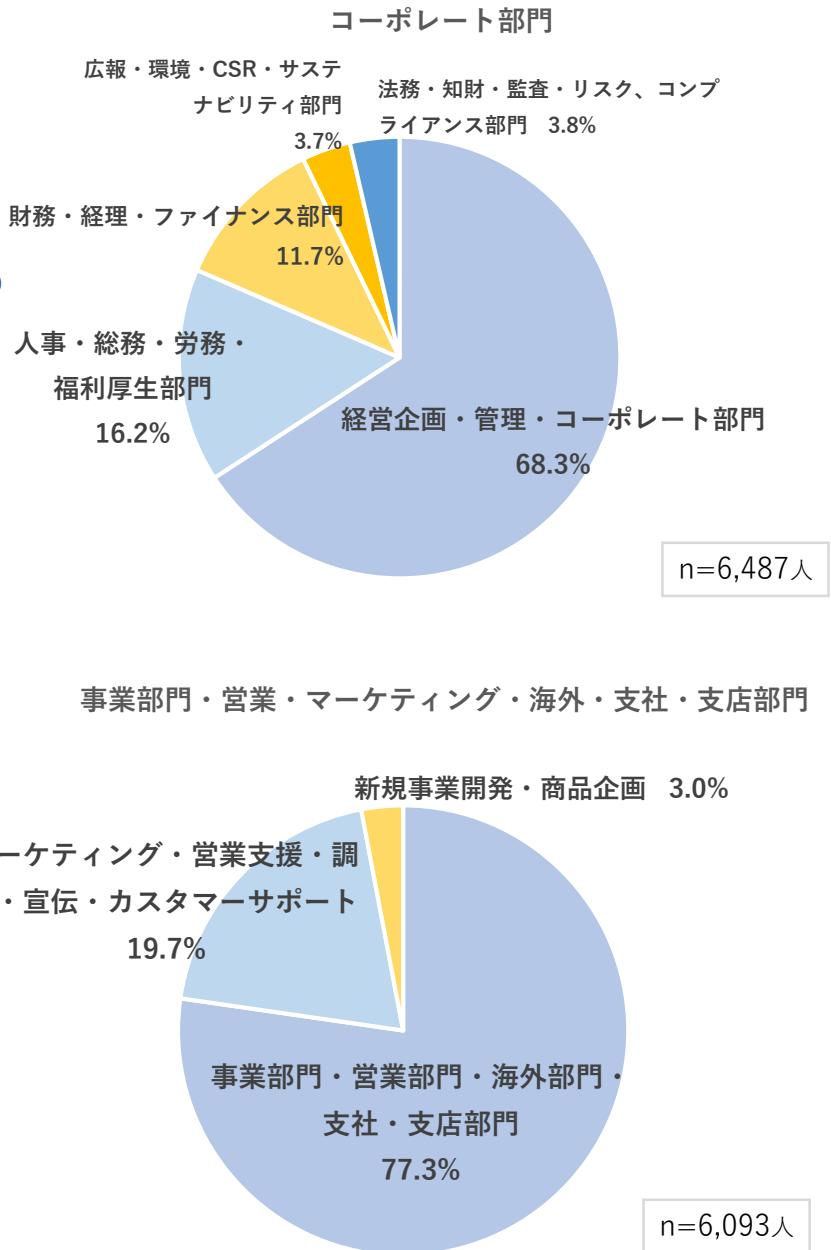
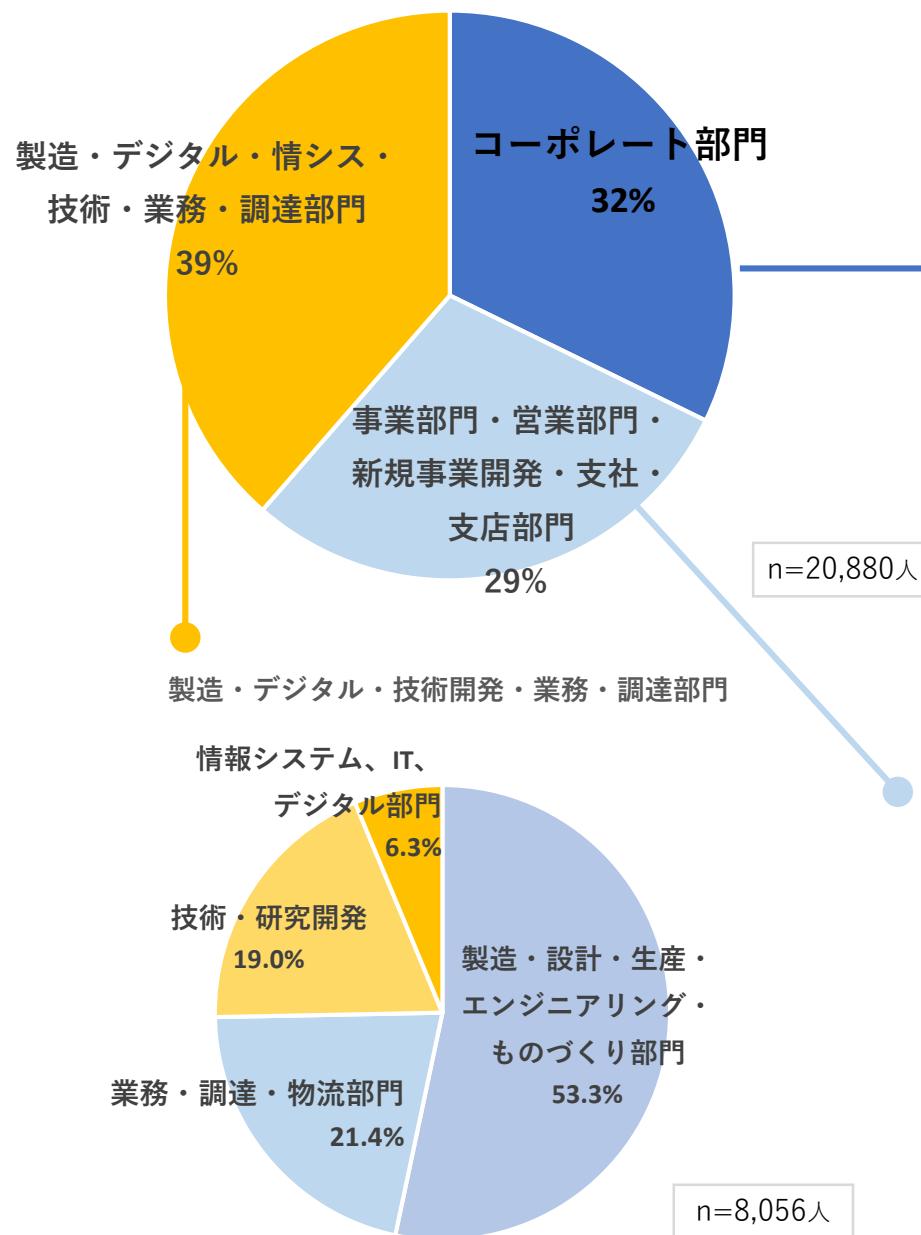
n=20,880人

## 【業種】



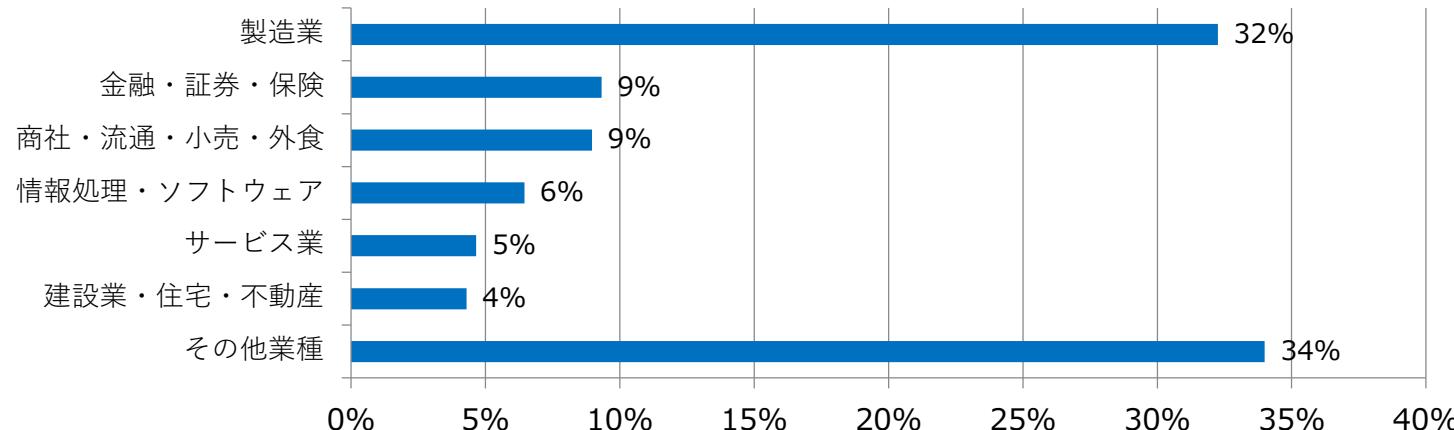
## 【業種内訳】





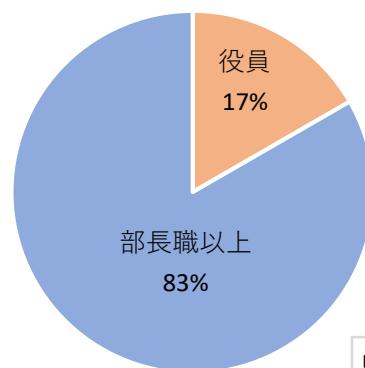
ダイヤモンド・オンライン、DHBRオンラインに登録する企業規模1,000名以上、経営者・役員、部長格35,000通に配信。

## 【業種】



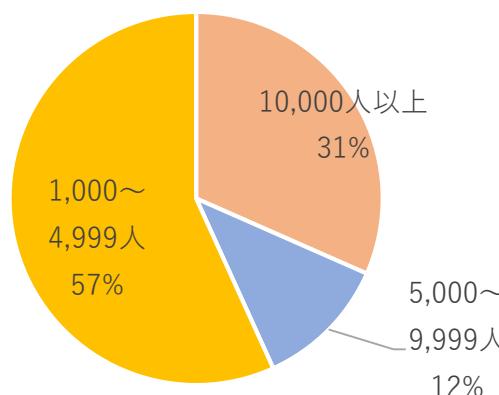
n= 34,722人

## 【役職】



n= 34,722人

## 【従業員規模】



n= 34,722人

※2022年夏号のダイレクトメール  
配布先となります。

※配信タイミングにより。  
通数は変動する場合があります。

## ■経営者

これまでにご登場いただいた経営者 ※前身の媒体を含みます。役職は取材当時。敬称略

- 有馬浩二 (デンソー 代表取締役社長)
- 安藤宏基 (日清食品ホールディングス CEO)
- 魚谷雅彦 (資生堂 代表取締役社長 兼 CEO)
- 牛尾治朗 (ウシオ電機 代表取締役会長)
- 小野田 聰 (JERA 代表取締役社長)
- 垣内威彦 (三菱商事 代表取締役社長)
- 金川千尋 (信越化学工業 代表取締役会長)
- 柄澤康喜 (MS & AD インシュアラנסグループHD 取締役会長 会長執行役員)
- 北尾裕一 (クボタ 代表取締役社長)
- 久夛良木 健 (ソニー・コンピュータエンタテインメント 元会長)
- 古森重隆 (富士フィルムホールディングス 代表取締役会長 CEO) 作田久男 (NTKセラミック 代表取締役会長)
- 柵山正樹 (三菱電機 代表執行役 執行役社長)
- 佐藤慎次郎 (テルモ 代表取締役社長CEO)
- 澤田 純 (NTT 代表取締役社長)
- 澤田道隆 (花王 代表取締役社長執行役員)
- 鈴木 純 (帝人 代表取締役社長執行役員CEO)
- 島野容三 (シマノ 代表取締役社長)
- 谷本秀夫 (京セラ 代表取締役社長)
- 玉川 憲 (ソラコム 代表取締役社長)
- 津賀一宏 (パナソニック 代表取締役社長)
- 土屋裕雅 (ベイシアグループ 代表取締役会長)
- 津谷正明 (ブリヂストン 取締役 代表執行役CEO 兼取締役会長)
- 中田卓也 (ヤマハ 代表執行役社長)
- 中山泰男 (セコム 代表取締役社長)
- 新浪剛史 (サントリーホールディングス 代表取締役社長)
- 西井孝明 (味の素 代表取締役 取締役社長 CEO)
- 東 和浩 (りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長)
- 東原敏昭 (日立製作所 取締役 代表執行役 執行役社長兼CEO)
- 藤野道格 (ホンダエアクラフトカンパニー CEO)
- 堀場 厚 (堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO)

オムロン  
代表取締役社長  
山田 義仁 氏



堀場製作所  
代表取締役会長 兼  
CEO 堀場 厚 氏



サントリーグループ  
代表取締役社長  
新浪 剛史 氏



- 松本正義 (住友電気工業 取締役会長)
- 峰岸真澄 (リクルートホールディングス 代表取締役社長兼CEO)
- 三村明夫 (新日鐵住金 相談役名誉会長 | 日本商工会議所 会頭)
- 宮永俊一 (三菱重工業 取締役社長 CEO)
- 村田恒夫 (村田製作所 代表取締役社長兼会長)
- 山田匡通 (イトーキ 代表取締役会長)
- 山田義仁 (オムロン 代表取締役社長)
- 吉永泰之 (SUBARU 代表取締役社長)

## ■アカデミア

これまでにご登場いただいたアカデミア

※前身の媒体を含みます。役職は取材当時・敬称略

伊丹敬之（国際大学学長 | 一橋大学名誉教授）

伊藤友則（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

岩井克人（国際基督教大学特別招聘教授）

宇佐美英機（滋賀大学名誉教授）

宇田川勝（法政大学名誉教授）

江川雅子（一橋大学大学院経営管理研究科特任教授）

老川慶喜（跡見学園女子大学マネジメント学部教授 | 立教大学名誉教授）

大湾秀雄（早稲田大学政治経済学術院教授）

加護野忠男（甲南大学特任教授 | 神戸大学名誉教授）

鹿島茂（フランス文学者）

兼田麗子（桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授）

蒲島郁夫（熊本県知事 | 東京大学名誉教授）

川上浩司（京都大学情報学研究科特定教授）

川本裕子（早稲田大学ビジネススクール教授）

橘川武郎（東京理科大学イノベーション研究科研究科長）

榎原清則（慶應義塾大学名誉教授）

柴崎隆一（東京大学大学院工学系研究科レジリエンス工学研究センター准教授）

末永國紀（同志社大学名誉教授 | 近江商人郷土館館長）

高倉弘喜（国立情報学研究所教授）

高野陽太郎（東京大学名誉教授）

名和高司（一橋大学大学院国際企業戦略研究科客員教授）

沼上幹（一橋大学副学長）

野中郁次郎（一橋大学名誉教授）

延岡健太郎（一橋大学イノベーション研究センターセンター長/教授）

平野雅章（早稲田大学ビジネススクール教授）

藤田正勝（京都大学名誉教授）

藤本隆宏（東京大学大学院経済学研究科教授）

本田由紀（東京大学大学院教育学研究科教授）

松田裕之（神戸学院大学経営学部教授）

三品和広（神戸大学経営学研究科教授）

森川博之（東京大学大学院工学系研究科教授）

森本博行（首都大学東京名誉教授）

一橋大学名誉教授

野中郁次郎



神戸大学名誉教授

加護野忠男



東京大学大学院  
経済学研究科教授  
藤本隆宏



湊長博（京都大学総長）

宮本又郎（大阪大学名誉教授）

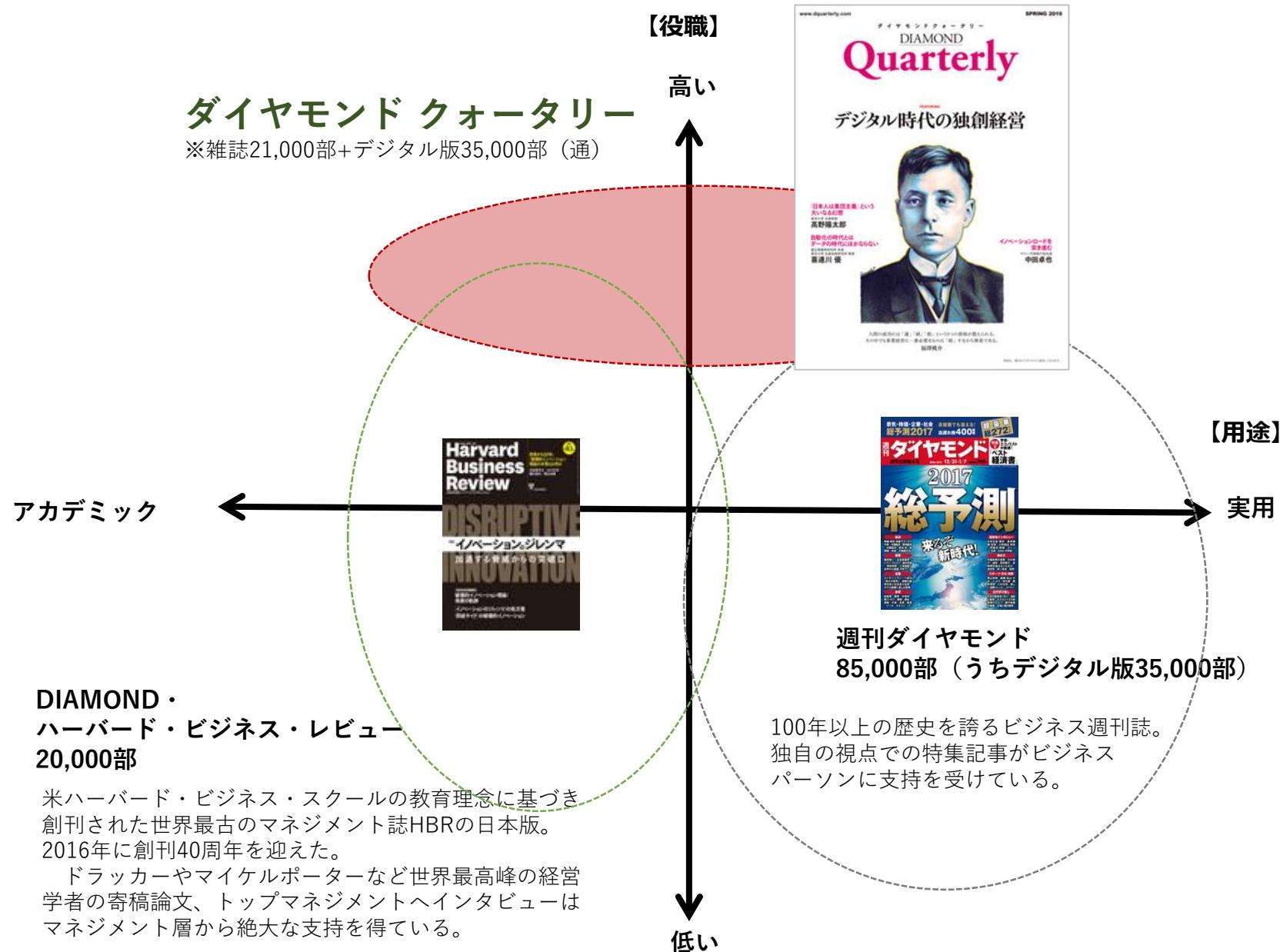
安田隆二（一橋大学大学院国際企業戦略研究科特任教授）

山田英夫（早稲田大学ビジネススクール教授）

横山禎徳（東京大学EMPディレクター）

米倉誠一郎（法政大学イノベーション・マネジメント研究科教授）

和田一夫（東京大学名誉教授）



## ダイヤモンド クオータリー 2024年夏号

## ■発行日

本誌（約21,000名への送付）	2024年7月中旬（仮）
オンライン転載（有料オプション）	2024年8月上旬（仮）
デジタル版（ターゲティングメール）の配信	2024年7月下旬（仮）

## ■締切

広告タイアップ申込	2024年 <b>3月29日（金）</b>
取材期日	2024年 <b>5月10日（金）</b> ※対談・複数社の取材の場合は応相談
同梱	申込み切：2024年 <b>7月1日（月）</b> 納品〆切：2024年 <b>7月11日（木）</b> 【納品先】〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-11-7 (株)JCC第四物流センター 純名様宛 TEL/092-588-5061
純広告（表2、表4、表3）	入稿〆切：2024年 <b>6月27日（木）</b> ※決定優先となるため空き枠はお問い合わせください。

## ■お問い合わせ

株式会社ダイヤモンド社 ビジネスマディア局  
ソリューション営業部 担当：川地／寺田

[info-dq@diamond.co.jp](mailto:info-dq@diamond.co.jp)

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

広告：TEL 03-5778-7220 編集：TEL 03-5778-7731

※スケジュールは変更になる場合がございます。